



地元を知り 世界へ羽ばたく



去る2日(木)に、大宜味中学校35期生の「宮城 七珠(ななみ)」さんをお迎えして、キャリア教育の一貫で講話を実施しました。七珠さんは、塩屋出身で、現在青年海外協力協会(JOCA)に勤めており、講話日の翌週には JICA 海外協力隊としてメキシコに派遣されるとのことでした。大変急なお願いでしたが、後輩の為にと快く引き受けて頂きました。

「Hola!(オラ〜)」の流暢なスペイン語であいさつ、自己紹介が始まると子供達は一気に七珠さんに心をつかまれました。講話では、フォトランゲージという手法で、実際に七珠さんが海外留学に行って撮った写真から、わかること、感じることを思い思いに自由にグループで書き込ませ、それを自由に伝えあったり、その写真を使って海外での出来事を語って、世界と私達のつながりを考えさせていました。そして、七珠さんが海外に出て学び、感じたことから、今大切にしていること「地元を知り、誇りに思い、それを強みとして海外の人たちと今つながる自分がいる」というお話を熱く後輩達に語っていました。

講話の最後には、「自分たちの住む沖縄、大宜味村をよく知ることに」、「いつも目標を持つこと(小さな挑戦)」、「わからなくても間違っても OK でチャレンジして」とエールが送られました。

七珠さん、講話どうもありがとうございました。世界で活躍する先輩のお話が聞けて大変良かったです。子供達も世界を身近に感じ、自らの生き方につながるいい機会となりました。

次は、メキシコとオンラインでの授業をお願いします! いってらっしゃい!